

～私たちの住みよき暮らしづくりは あなたの正しい記入から！～
今年度、国勢調査を実施します

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。

調査の結果は、国や都道府県・市区町村で行う行政の基礎資料として活用されるほか、学術・教育機関、企業など幅広い分野で利用され、私たちの暮らしにいかされています。

9月下旬から、調査員が各世帯を訪問して調査票を配布します。

記入していただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、市役所に郵送して提出をよろしくお願いいたします。



※第1回国勢調査ポスター
 (大正9年実施)
 ひょっとしたら、ご存知の方も
 いらっしゃるのでは？

熱中症に注意しましょう！

今年は猛暑の影響で、全国各地で熱中症により病院に搬送される方がおられます。

のどがかわかなくても水分補給し、部屋の温度をこまめに測りましょう。また、幼児は体温調節機能が十分発達していないため、特に注意が必要です。

外出や屋外の作業時には特に気をつけ、少しでも体調が悪くなったら無理をせずに木陰で休むか病院に行くようにしましょう。



移動図書館<やまびこ号Jr.> 9月18日(土)

- 瀬戸浜自治会館 10:40～10:50
- 大津島郵便局前 11:10～11:40
- 馬島巡航待合所 13:00～13:30
- 刈尾巡航待合所 13:50～14:10

編集後記<筆者の独り言>

暑い日が続きますね。

家に帰ってからの冷たいビールが恋しい季節ですが、相変わらずのメタボ腹を「どねえかせにやいけん」と思う日々です。

とりあえず、9月の3大行事(敬老会・須金交流会・運動会)が控えております。しばらく忙しい日々が続きますが、行事を無事終わらせ、一息ついてからおいしく頂こうかと思っております(それまではじっと我慢)。

情報・ご意見などございましたら市役所大津島支所までお寄せ下さい。

潮流

第208号 平成22年9月1日

大津島地区コミュニティ推進協議会

地域の景観はみんなで守り、みんなで創る

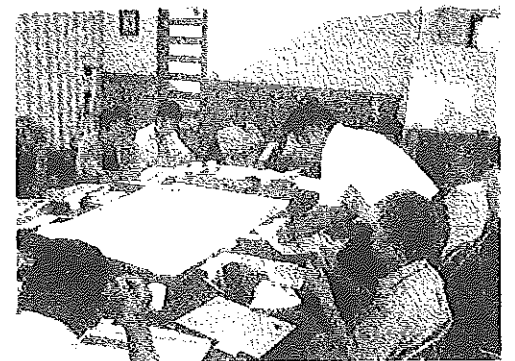
景観まちづくりのアクションプランを考えよう！

8月5日大津島ふれあいセンターで「景観まちづくりの方向性と地域での活動を語る」をテーマに景観まちづくりワークショップが開催されました。

大津島の景観のいいところや問題点をピックアップし、その問題点を解決するにはどうすればよいか？と参加者で話し合いました。

「大津島は景色がきれい」「食べ物が新鮮」など良いところがあるという意見もあれば「高齢化が進み、草刈りなどがままならない」「空き家が多い」など、生活に密着した問題点も出ました。

「その問題点を解決するのはどうしたらよいか？」もみんなで考え、いくつかの案がでたようです。



次回9月2日の会議では、今回出た意見・案などをより具体的に話し合い、景観まちづくりに向けた行動プランを作成する予定です。



ワークショップとは？

本来「仕事場・工場・研修会」という意味ですが、まちづくりで使う場合は、参加者が話し合いや作業をしながら、計画づくり・施設づくりの提案などを行うこと、またはその集まりのことを意味します。

誰もが対等の立場で意見を出し合い、楽しく行えるよう工夫することが大事とされています。



どんな珍プレー・好プレーが飛び出すでしょうか?
皆さん、運動会でいい汗流しましょう!



9月24日(土) 大津島小学校グラウンドにて、大津島地区大運動会が行われます。
 今年も豪華賞品(?) 盛りだくさんです。ご近所お誘い併せの上、多数ご参加下さい!

天候によっては、翌日に延期、または体育館にて規模を縮小して開催いたします。
 ※競技に参加される方は、運動の出来る服装でお越し下さい。
 また、残暑厳しい季節ですので、無理の無いようによろしくお願いいたします。



主な種目 (一般参加種目)

- たまいれ (高齢者)
- アベック競走 (一般)
- 徒競走 (一般)
- 綱引き (小中学校一般合同)
- わたし綺麗でしょう (一般)
- 玉ころがし (高齢者)
- てんやわんや (一般)
- パン釣り競走 (全員)

運動会に関する問合せ先
 大津島小中学校 (85-2003) または大津島支所 (85-2001)

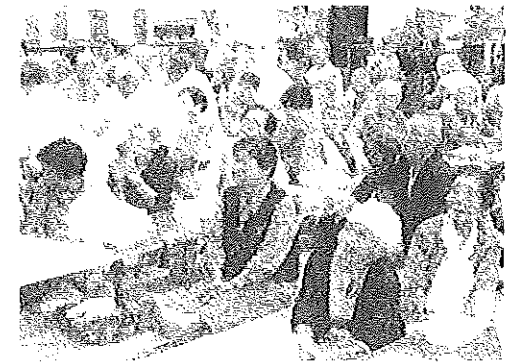
祝 敬老の日記念行事のご案内



毎年恒例となっております、大津島地区敬老の日記念行事ですが、下記の日程のとおり開催いたしますのでご連絡いたします。

日時：平成22年9月11日(土) 10:50~13:30
 会場：大津島中学校体育館(本浦)
 問合せ先
 大津島支所(敬老会事務局) TEL85-2001

当日の演芸会出演者も併せて募集します。
 出演希望者は事務局までご連絡下さい。
 大津島のビッグイベントです。
 みんなで楽しいひと時を過ごしましょう!



田舎に住むということ

「田舎に住みたいという人の多くは、豊かな自然や住環境を楽しんで自分たちだけはのんびり暮らそうとする。みんな田舎の人達が時間をかけて蓄えてきたものなのに、そこに気がつかない。若い頃からの、地域と人とのさまざまなつながり、協力関係があつてこそ、老いたときに地域の為に時間を提供し、後で返してもらう。循環型社会とでも言うのでしょうか。年をとってから田舎に入るのは若いときに田舎への時間の蓄えをしないで住むと言う事です。だから自分は地域に何をもらふ事が出来るか、何を還元するのかを考えなければいけない。」

以上は平成10年1月の朝日新聞のコラム「天声人語」を拝借しました。

記者が東京から山形県に移り住んで、山小屋を営むエッセイストの心構えを文章にしたものです。私もまったく同感です。

柳浦 坪井昭生